

中小機構におけるベンチャー企業 支援事例

平成28年1月28日

創業支援に関する地域ワークショップ資料

独立行政法人中小企業基盤支援機構

九州本部 福岡システムLSI総合開発センター

インキュベーションマネージャー 田中 秀一郎

本日の内容

1. 中小企業基盤整備機構について
2. 福岡システムLSI総合開発センターについて
3. 中小機構支援メニュー紹介
4. ベンチャー企業支援事例

1. 中小企業基盤整備機構について

中小機構について

役割

- 中小機構は、中小企業の「創業・新事業展開」、「成長・発展」、「セーフティネット」といった中小企業政策全般にわたる総合的な支援・実施機関として平成16年7月に設立。
- 中小企業者の多様な経営課題に対し、多様な支援ニーズや専門的な知見・経験等を活かしつつ、「国の政策課題」と「中小企業者の支援ニーズ」に総合的に対応する唯一の独立行政法人。

組織

- ◆ 設 立：平成16年7月（三法人統合）
- ◆ 資 本 金：1兆1057億1799万7205円
（平成27年10月16日現在）
- ◆ 主要拠点：本部（東京）、地域本部等
（9地域本部＋沖縄事務所）、
中小企業大学校（9校）
- ◆ 役職員数：役員12名、職員782名
（平成26年7月1日現在）
[アドバイザー等外部専門家：約4,000名]

理事長
副理事長
理事

本部

総務部、財務部、情報システム基盤センター、企画部、経営支援情報センター、経営支援部、国際交流センター、販路支援部、事業再生支援センター、ファンド事業部、高度化事業部、共済事業推進部、震災復興支援部、事業承継・引継ぎ支援センター

地域本部

北海道本部、東北本部、関東本部、中部本部、北陸本部、近畿本部、中国本部、四国本部、九州本部、沖縄事務所

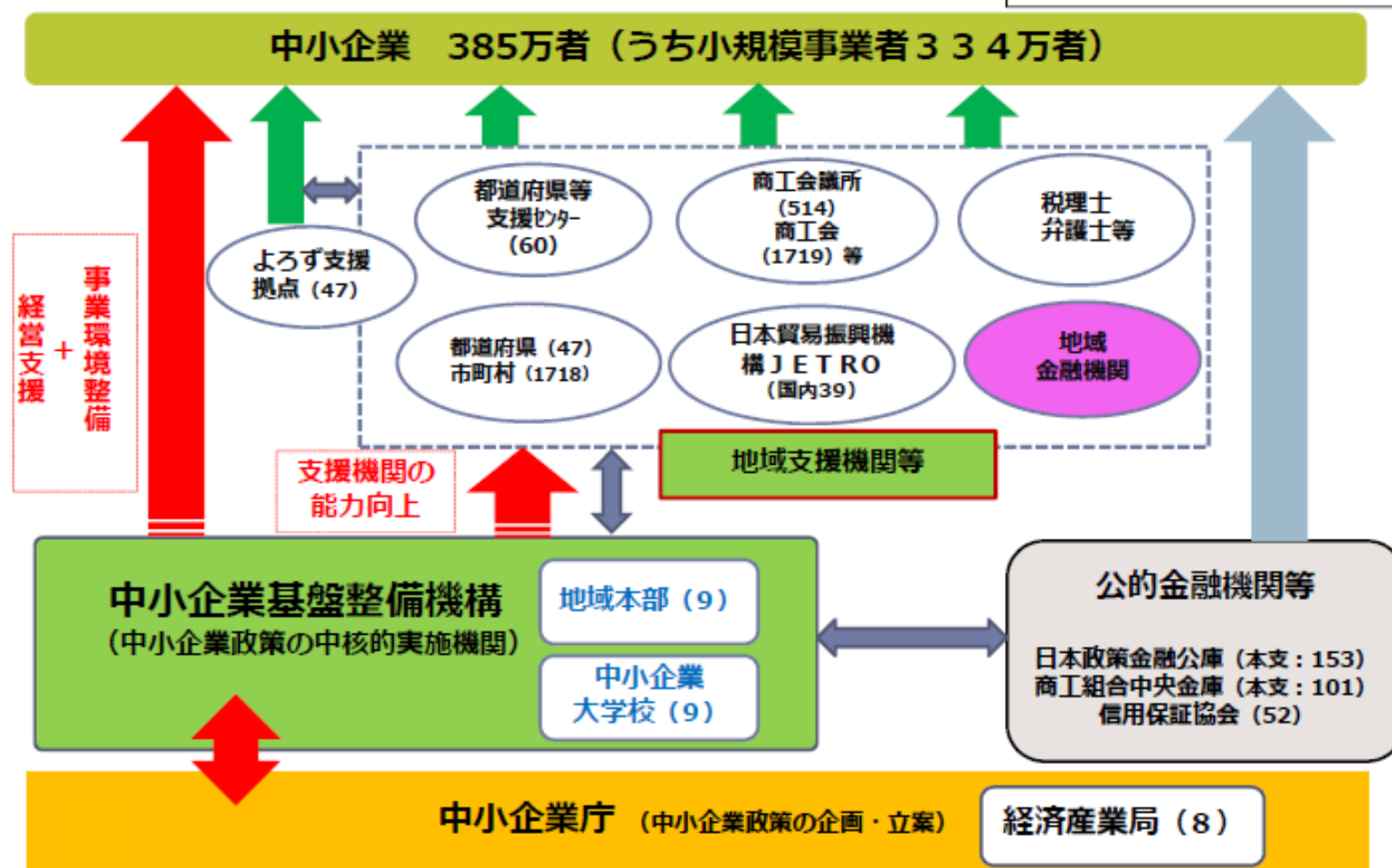
（＊このほか、中小企業大学校9校設置）

中小企業支援体制

中小企業基盤整備機構と中小企業支援体制

中小企業政策は、関連する様々な組織が連携して実施される。

★認定支援機関23,628(H27.4.16現在)



中小機構の事業概要

中小企業基盤整備機構の事業概要



2. 福岡システムLSI総合開発センターについて

福岡LSIセンターの概要

福岡システムLSI総合開発センター (九州大学連携型起業家育成施設)

インキュベーションの充実、設計試作支援を柱に半導体関連ベンチャーの育成、成長に強力に取り組む



**全国唯一の半導体ベンチャー専門
インキュベーション施設**

本センターの機能

- ①インキュベーション支援
(インキュベーションルーム、IM、支援企業等による支援)
- ②設計試作支援 (システムLSI設計試作センター)

[施設概要]

- ・開 設 : 平成16年11月
- ・施設建設 : (独)中小企業基盤整備機構
- ・管理運営 : (公財)福岡県産業・科学技術振興財団
- ・場 所 : 福岡市早良区百道浜3-8-33
- ・敷地面積 : 約3,100m²
- ・延床面積 : 約7,700m² 鉄筋コンクリート7階建
- ・事業費 : 約30億円(土地約10億・建物20億)

① インキュベーション支援

創業期にあるベンチャー企業の育成を担う施設

- 事業スペース賃貸
- 製品開発、販路開拓、ネットワーク構築、人材育成、資金調達等の経営のソフト面を支援

居室



会議室



交流サロン



入居者懇話会



展示会



入居者状況 〈平成28年1月4日現在〉

インキュベーションルーム：【20㎡～100㎡】全46室 ⇒ 43室（46社）入居 【入居率 93%】

シェアードオフィス：【8㎡】全23ブース ⇒ 21ブース（21社）入居 【入居率91%】

入居者内訳（67社）： 半導体関連企業（41社） IT関連企業（19社） 支援型企业等（7社）

②設計試作支援（設計試作センター）

回路設計・検証ツールの提供

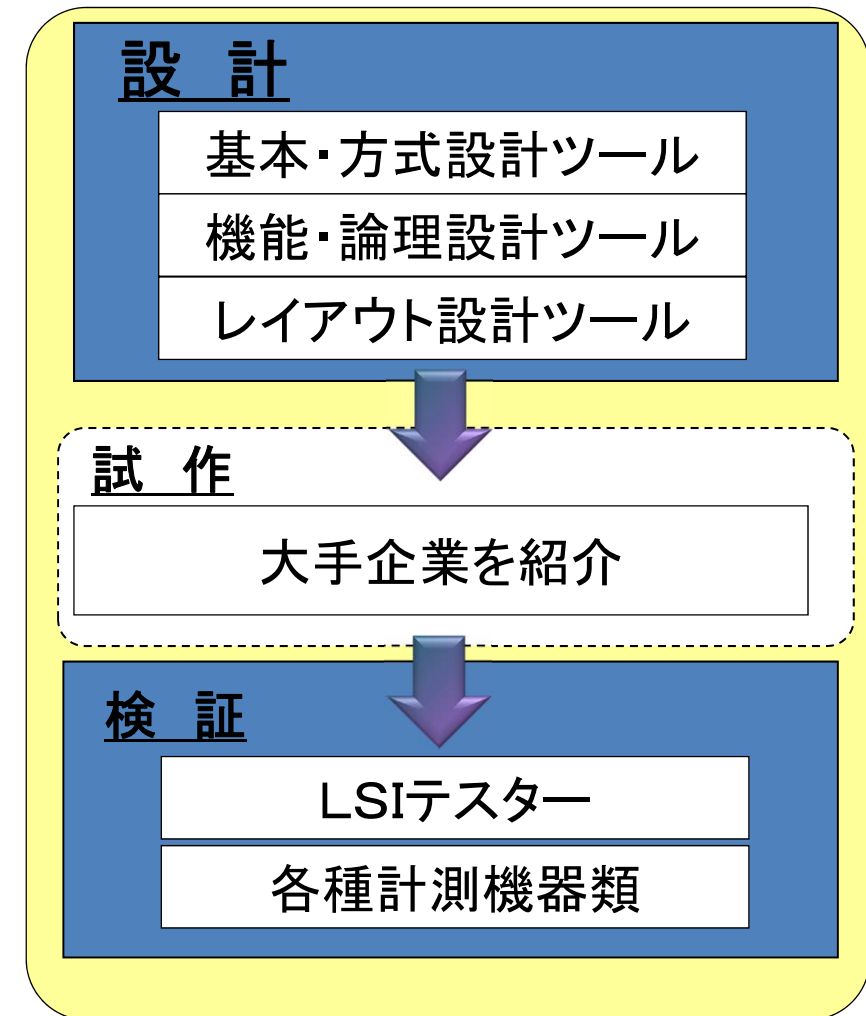
- ◆設計ツールからテスト検証ツールまでを備えた「設計・検証ラボ」を設置し、自社製品を持った開発型の半導体ベンチャー育成をトータルに支援
- ◆20年度に経済産業省(地域企業立地促進等共用施設整備費補助事業)の支援を受け「設計試作センター」として拡充



【設計試作センター】

先端の設計ツール約40種類を低料金で開放

- ・業界標準の設計ツールを完備
- ・先端微細化技術に対応(回路線幅65ナノ)
- ・試作費用を1/10以下に軽減できるeASIC用設計ツールや設計期間を大幅に短縮できるC言語対応ツールを完備



3. 中小機構支援メニュー

中小機構の支援メニュー

起業・創業期 新事業展開

インキュベーション事業

全国32カ所に施設を展開。常駐するインキュベーションマネージャーによる経営相談をはじめ、産学官連携やネットワーク構築もサポートしています。

TIPS

新事業の創出に向けて、人とつながり、学び、アイデアを磨くための東京駅前ビジネス創発拠点。中小企業や起業、地域活性化に関心のある方々向けに様々なイベントを開催しています。

BusiNest

起業を目指す方々や創業期の企業のためのビジネス拠点。常駐する専門家によるアドバイスやセミナーが受けられる他、個別オフィスや共有の会議室などのオフィス機能も備えています。

地域資源活用・農商工連携・新連携

地域資源を活用した「地域資源活用」、中小企業者と農林漁業者が連携する「農商工連携」、異分野の中小企業が連携する「新連携」。計画づくりから事業化まで新事業展開をサポートしています。

成長期

販路開拓

展示会や商談会などのリアルな支援にICTを組み合わせ、2つのアプローチから中小企業の販路開拓を後押し。また、eコマースを活用した販路拡大もサポートしています。

オンライン・マッチング

ものづくり企業と国内外の企業をつなぐマッチングサイト「J-GoodTech」、伝統技術や素材を活かした創り手とバイヤーを結ぶ「Rin crossing」を通じ、オンライン上でもビジネス・マッチングの機会を創出しています。

海外展開

JETROや海外支援機関などと連携し、海外展開をサポート。専門家派遣やビジネス・マッチングをはじめ、現地調査などのバックアップも行っています。

成熟期

事業承継・事業引継ぎ

中小企業経営者や支援機関向けのセミナーを開催。「中小企業事業引継ぎ支援全国本部」として、データベースを活用した事業引継ぎに関するサポートを行っています。

事業再生

「中小企業再生支援全国本部」として、中小企業再生を促進させるため、各地の再生支援協議会に対し、様々なサポートを行っています。

中心市街地活性化

セミナーの開催や専門家派遣、情報提供を、中心市街地活性化協議会などに対して行っています。

高度化事業

経営基盤強化のために、施設整備や中小企業を支援する事業に対して助言や融資を行う他、企業連携支援アドバイザーの派遣も行っています。

ステージ共通

経営相談

電話・インターネット・対面窓口を通じて無料で経営相談。

専門家派遣

約4,000名の専門家が、課題解決に向けてアドバイスを提供。

人材育成

中小企業大学校や各種セミナーを通して、人材育成をサポート。

情報提供

経営に役立つイベントや助成金情報などを、多彩なツールで発信。

資金提供

起業・事業拡大・事業再生を、ファンドを通じた間接出資でサポート。

インキュベーション施設による支援

中小機構のインキュベーション施設では、ベンチャー企業や新たに事業を展開する中小企業に対し、事業化や企業成長に向けた支援を行います。

ソフト面での支援

- インキュベーションマネージャー（IM）が施設に常駐。
- 機構の支援メニューをフルに活用し、地域の大学など支援機関と連携して、IMが事業化をコーディネート。
- 地域の企業に対し、セミナーや経営相談会などを開催し、情報提供、交流機会の場を提供。

ハード面での支援

- 事業を行うために必要な設備が整った居室を賃貸で提供。

【主な居室タイプ】

オフィスタイプ、実験研究室タイプ

【共用設備】

無料で使用できる共用の会議室や商談室

24時間の機械警備

（施設によって利用内容が異なります）

新事業創出型事業施設

地域の産業集積を活用し、新たな商品開発、新事業の成長加速を図り、中小企業事業者を支援



クリエイション・コア福岡
（福岡県筑紫野市）

大学連携型企業家育成施設

大学等の革新的な技術シーズ、アイデアを活用し、ベンチャー・新事業の創出、中小企業事業者の成長・事業化を支援



くまもと大学連携インキュベータ
（熊本市）



ながさき出島インキュベータ
（長崎市）



福岡システムLSI総合開発センター
（福岡市）

試作開発型事業促進施設

ものづくり企業への新たな試作品やソフトウェア開発を行う事業スペースを賃貸で施設提供
テクノフロンティア熊本（熊本県合志市）

インキュベーション事業の仕組み



中小機構のインキュベーション事業の仕組み(イメージ)



新事業展開支援

1. 新連携事業

異分野の中小企業が連携して行う新事業展開について、事業計画策定から販路開拓までトータルで支援

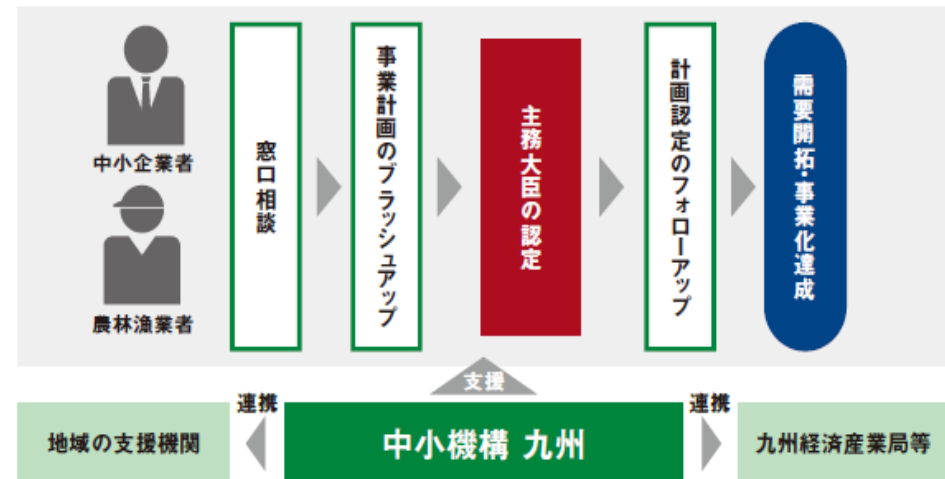
農商工連携、地域資源活用事業、新連携には、それぞれ根拠となる法律があり、事業計画の認定を受けることにより、さまざまな支援策を受けることができます。中小機構は、事業計画作成から認定後の事業化達成までトータルサポートします。

2. 地域資源活用事業

農林水産物、産地の技術、観光資源等の地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、生産について、事業計画から販路開拓までトータルで支援

3. 農商工連携事業

農林漁業者と商工業者等が連携して行う新商品・新サービスの開発、生産について、事業計画から販路開拓までトータルで支援



4. 戦略的基盤技術高度化事業（ものづくり支援）

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）に挑戦する中小企業者に対し、以下の支援を実施

- 研究開発計画・提案書作成時のアドバイス
- 研究開発推進・事業化に向けたアドバイス

販路開拓支援

1. 販路開拓コーディネート事業

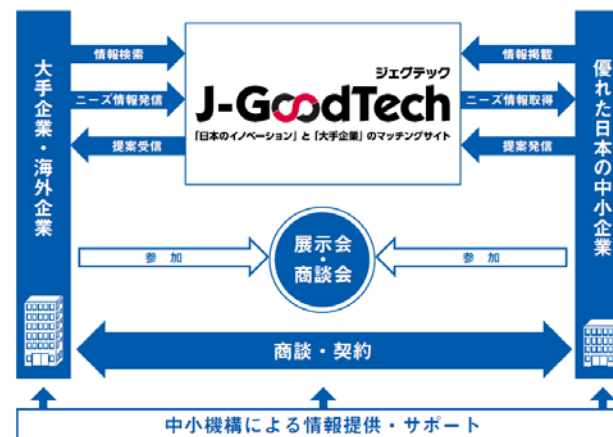
【対 象 者】 製品・サービスに新規性があり、首都圏または近畿圏市場の販路開拓を希望する中小・ベンチャー企業
※中小機構または各県中小企業支援センターいずれかによる推薦が必要となります。

【支援内容】 優れた新商品・新サービスを持つ中小企業を対象に、マーケティング企画の策定及び首都圏・近畿圏におけるテストマーケティング活動を通じて、新たな市場開拓の土台づくりを支援します。

2. ビジネスマッチングサイト 「J-Good Tech (ジェグテック)」

ジェグテックは、優れた技術や製品を有する日本の中小企業を国内大手企業や海外企業につなぐマッチングサイト。ウェブ上での情報発信、情報交換に加え、商談会等の開催や専門家による仲介サポートも実施することで効率的・効果的なマッチングを実現し、新たな取引や技術提携などにつなげていきます。

【募集対象企業】 優れた技術・製品を有し、販路開拓に意欲的なものづくり中小企業。



3. 展示会出展支援

■新価値創造展の出展支援

中小・ベンチャー企業が開発した新商品・新サービス・新技術を一堂に会し、展示・紹介する「新価値創造展」（中小機構主催）。東京及び大阪で開催される日本最大級のマッチングイベントへの出展をサポートし、販路開拓、業務提携など、ビジネスマッチングの機会を提供します。

■九州地域における各種展示会への出展支援

食品、モノづくりなど、様々なテーマで開催されるマッチングイベント、展示会への出展をサポートします。



新価値創造展

資金調達支援

1 ファンド in 九州・ファンド in 東京

■対象者

九州（山口を含む）・沖縄域内の成長性が高い中小・ベンチャー企業であって、ベンチャーキャピタルからの資金調達（投資）を希望する方（※参加にあたっては、審査があります）

■支援内容

ベンチャーキャピタルに対する事業計画のプレゼンテーションと個別商談の場である「ファンド in 九州」、「ファンド in Tokyo」を開催。中小機構が事業計画作成やプレゼンテーションのアドバイスをを行い、必要に応じて他の支援メニューによるアフターフォローを行います。

2 ファンド出資事業

民間投資会社が運営する投資ファンド（投資事業有限責任組合）に対して、資金を供給することで、ファンド組成を促進し、ベンチャー企業や中小企業への投資機会の拡大を図っています。

起業支援ファンド

アーリーステージ(設立5年未満)のベンチャー企業を重点的に支援

中小企業成長支援ファンド

新事業展開、事業の再編、承継等により新たな成長・発展を目指す中小企業を幅広く支援

中小企業再生ファンド

中小企業再生支援協議会と連携し、再生に取り組む中小企業を支援

4. ベンチャー企業支援事例

支援事例①【株式会社システム・ジェイディー】

1. 会社概要

太陽光発電システムの不具合を検出するソリューションやサービスを提供致しております。

『太陽電池アレイの断線を早期に発見！』

発電ロス低減とメンテナンスコストの削減、発電所の防災・保全に最適な1台です

当社が開発した太陽電池アレイテスター『SOKODES(ソコデス)』は、太陽光パネルの断線を容易な操作で検出し、断線箇所を推定できる世界初の検査器です。

これまでの太陽電池パネルに対する検査は、目視または機器を用いて汚損、割れ、電圧電流特性を検査・測定する方法が主流でした。しかしながら、これらの検査は、日射量及び天候への依存、工数の多さに伴う非効率性・高コスト等の課題があり、結果として故障パネルの放置に繋がり、現状においても多くの故障パネルが放置されたままになっています。

『SOKODES』は、日射量へ依存がなく、従来手法に比べ作業工数の削減が可能であり、これまでのメンテナンスにおける課題の解決に資するものです。



平成25度新エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞

第13回MIT-EFJビジネスプランコンテスト

BPCC13ストラテジック部門 最優秀賞

平成25年度福岡市トライアル発注認定事業

平成24年度新連携認定事業

また、平成27年8月より新たに「地絡検出器」の販売を開始しました。本装置は、断線と並んで問題となりつつある太陽光パネルの漏電を検出し、漏電箇所を推定する装置です。「平成26年度先端半導体関連製品開発支援事業」の成果を活用し製品化を行いました。

今後も機能改善と導入コストの削減を軸に、さらなるマーケットの拡大を目指し、国内だけでなく、欧米や新興国など海外への事業展開を予定しています。

遠隔監視システム



大規模発電向けに組込型の遠隔監視システムとして、これまでに8ヶ所のメガソーラーに導入頂いております。

NEW!



地絡検出器



海外規格適合
SOKODES

- ☐ 代表者 代表取締役 加島 淳司
- ☐ 本社所在地 福岡市早良区百道浜三丁目8番33号
- ☐ 設立年月 2002年3月
- ☐ URL <http://www.system-jd.co.jp>

【LSIセンター連絡先】

E-Mail : sokodes@system-jd.co.jp (担当者 : 松尾)

事業内容

半導体分野で蓄積した故障診断技術をエネルギー分野における太陽光発電システムに応用した事業を展開しております。太陽光発電システムで発生する故障を検出するソリューションの開発・販売、および太陽光パネルの検査サービスやメンテナンスに関するコンサルティング、人材育成なども行っております。

支援事例①【株式会社システム・ジェイディー】

2. 会社沿革

2002年-2005年〈入居前〉 【本社：福岡SRPセンタービル】

2002年3月に現会長の伊達氏が日立製作所・九州先端科学技術研究所の技術職として培った知見と九州大学の技術を元に起業。

半導体製品の信頼性を向上させるためのテスト容易化設計システムを構築し、テスト設計支援ツールを提供。

2003年に九州大学、九州工業大学等の共同で「次システムLSIテストコスト低減を指向したテスト技術の研究開発」のテーマで研究開発を行い、LSIの先進的なテスト手法を開発。

2005年-2012年〈入居後〉 【本社：福岡LSIセンター】

半導体メーカーと連携して、システムLSIのテスト設計支援ツール事業の拡大に向けて活動。

リーマンショック後、国内大手企業の半導体事業撤退等により、LSIテスト市場が大幅に縮小。急激な環境変化に対応するため、LSIテストで培った技術を応用した太陽電池アレイテスター事業への転換を図る。

2009年にNEDO新エネルギーベンチャー事業に採択され、太陽電池アレイテスター「SOKODES」を開発。

2012年-現在 【本社：福岡LSIセンター】

太陽光発電パネルテスターに事業の軸足をシフトし、製品販売を開始。

2013年5月 SOKODES事業が新連携事業補助金（中小機構）に採択。

2013年11月 「第13回MIT-EFJビジネスプランコンテスト」最優秀賞を受賞。

2014年1月 「新エネ大賞」資源エネルギー庁長官賞を受賞。

2015年 新製品となる地絡検出器を開発し、販売を開始。

支援事例①【株式会社システム・ジェイディー】

3. 課 題

- ・販路開拓：従来の半導体事業とは異なる顧客がターゲットとなるため、新規の販路開拓が必要。
- ・資金調達：新事業への転換に伴い、新製品の開発費等の資金調達が必要。
- ・情報発信：自社製品のPRや太陽光発電システムの検査という新市場の開拓のために、積極的な情報発信が必要。

4. 支援内容

◆販路開拓

新価値創造展等の展示会、TOKYOイノベーションリーダーズサミット等のマッチングイベントの参加、大手企業との個別マッチング支援、新連携事業（中小機構）を活用した事業計画策定、製品開発、販路開拓支援

◆製品開発（補助金申請）

「ものづくり・商業・サービス革新事業」「福岡県製品開発支援事業」等の製品開発関連の補助金の獲得を支援

◆情報発信

Incubation Report（中小機構）、中小企業振興新聞（中小機構）の特集記事への掲載、TV等のメディア取材の紹介、中小機構、福岡県主催のセミナーへの登壇

5. 結 果

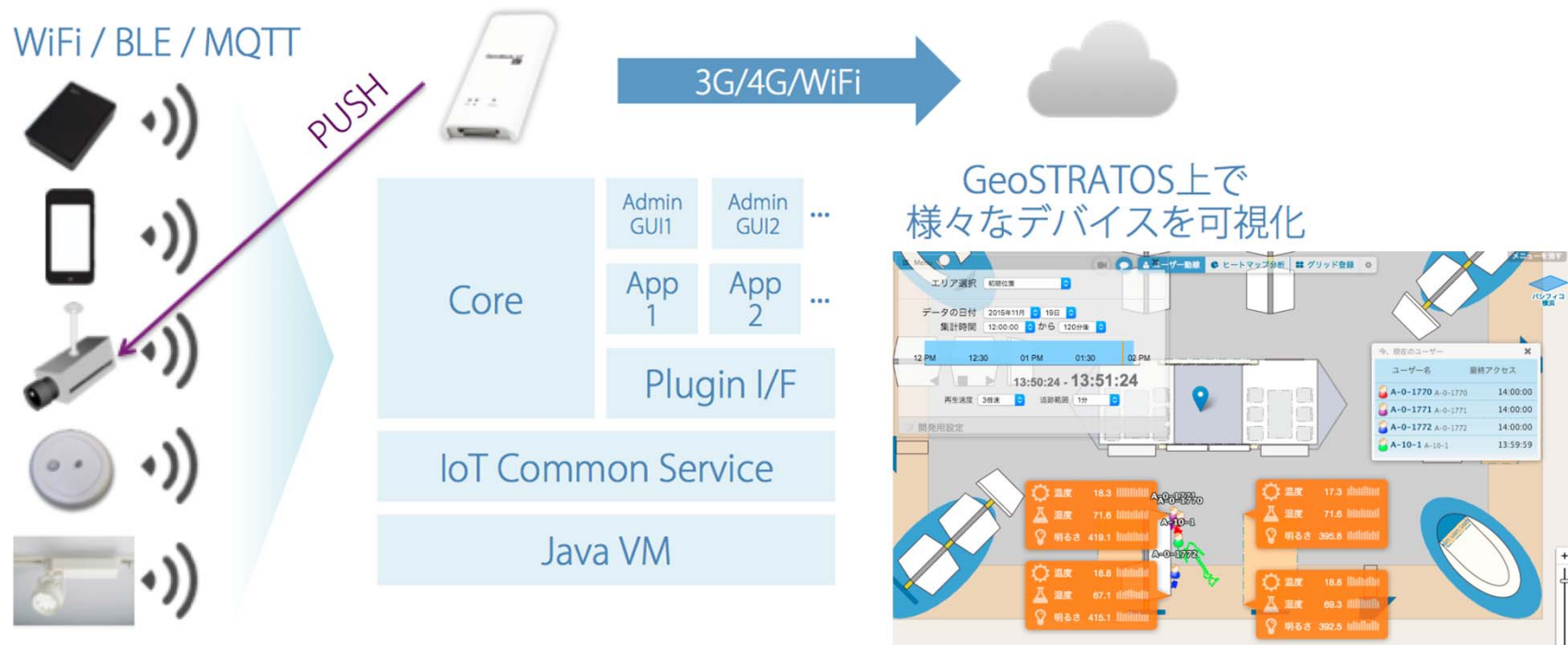
- ・携帯型「SOKODES」は、全国20の販売代理店（麻生商事、ティ・アイ・エス等）を通じて、国内外への販路拡大を展開。
- ・組込型「SOKODES」遠隔監視システムは、大手電機メーカー等と提携してメガソーラーを中心に導入を拡大。
- ・新製品「地絡検出器20G」を開発し販売開始。

支援事例②【株式会社Lafla】

1. 会社概要

GeoSTRATOS: 人流/行動解析ソリューション

「リアルタイム、高精度、IoT GW連携」人とIoT機器との関係を見える化します。



- 代表者 代表取締役 有免 達憲
- 本社所在地 福岡市早良区百道浜三丁目8番33号
- 設立年月 2008年9月
- URL <http://www.lafla.co.jp>

【LSIセンター連絡先】

TEL : 092-986-4662 (担当者 : 御手洗)

□事業内容

当社は、WEBサイトの行動解析基盤「SiteSTRATOS」とリアル空間の行動解析基盤「GeoSTRATOS」を提供する統合行動解析ソリューションベンダーです。GeoSTRATOSはスマートフォンとBeaconを用いた位置解析ソリューションで高精度、多彩な分析機能についてご評価頂いております。

支援事例②【株式会社Lafla】

2. 会社沿革

2006年-2008年〈入居前〉

【本社：福岡市西区】

2006年7月にJSTの平成18年度大学発ベンチャー創出事業推進制度に採択され、2008年9月に上記プロジェクト進行中に創業。

九州大学におけるテキストマイニング技術を元に情報検索・分析におけるビジネス展開を目指す大学発ベンチャー企業。

Web上の情報検索・絞り込みに関するプログラムを提供。

集客効果の高い新しい情報配信のための手段を提供すると同時に、Web上で情報配信を行うサービスを展開。

2008年-2014年〈入居後〉

【本社：福岡LSIセンター】

インターネットを中心に蓄積された情報に対し、5つの独自技術で、新しい価値を提供。

- ・テキストマイニング技術
- ・視覚化技術
- ・Webクローラー技術
- ・検索技術
- ・レコメンド技術

2009年12月にグーグル(株)のGoogle Enterprise Partnerに認定

[導入事例]

■Japan in Motion
海外向けに日本の文化、観光地の動画を発信するサイト。

■有報LenZ
有価証券報告書を分析するサービス。(株)矢野経済研究所と共同で開発。

2014年-現在〈入居中〉

【本社：福岡LSIセンター】

2014年7月に(株)Laflaとサイトアクセス解析サービスを提供する(株)インフォキューブ【横浜市】の両社の株式を移転した共同持株会社『(株)インフォキューブLAFLA』を設立。

従来からのシステム開発受託事業に加えて、人とIoT機器との関係を見える化するリアルタイム人流解析サービス「GeoSTRATOS」開発・販売を開始。

2015年5月に開催されたIoT関連の展示会向けデモ開発を切っ掛けに、インテル(株)の声掛けで集まった企業集団「IoTベンチャーズ」のベンチャー企業7社のうちの1社として参加。

支援事例②【株式会社Lafla】

3. 課 題

- ・販路開拓：「GeoSTRATOS」は、従来のシステム受託事業とは異なるビジネスモデルとなり、様々な業界への新規販路開拓が必要。
- ・製品開発：ソフトウェア及びウェアラブル端末等のハードウェア開発のための資金が必要。
- ・資金調達：他社に先駆けて事業を拡大するための営業力強化（人件費、広告宣伝費等）、設備投資資金が必要。

4. 支援内容

◆販路開拓

TOKYOイノベーションリーダーズサミット等のマッチングイベントの参加、大手企業との個別マッチング支援、ET/IoT総合技術展、ウェアラブル展等の展示会出展の支援。

◆製品開発（補助金申請）

「ものづくり・商業・サービス革新事業」「研究開発型ベンチャー支援事業（NEDO）」等の各種補助金情報の提供及び申請書作成を支援。

◆資金調達

ファンド in 九州、フクオカベンチャーマーケットに登壇し、自社の新事業への取組をPR。中小機構九州本部の専門家による資本政策等の策定支援。

5. 結 果

- ・星野リゾート（星のや軽井沢）で、スタッフの位置動線・作業種別の収集・解析する実証実験を実施。
- ・JR東日本でBeaconを使った作業員の位置動線データ収集の共同実験を実施。
- ・大手飲料メーカーで従業員の動線解析サービスの採用が決定。

入居者支援イベント①

LSIセンター懇話会

毎月1回、入居企業が持ち回りで話題提供者となり、話題提供者が提案する「テーマ」に則り、参加者が自由に意見交換をして情報提供・情報共有を行う。テーマの選定は話題提供者に一任し、自社の事業・製品の紹介や業界動向等を話題として取り上げ、様々な視点から自由に話し合う。入居者間の交流を促進し、個々の企業の既存事業の拡大や新事業立ち上げへの手掛かりを得る機会をつくることを目的とし、今後の製品共同開発や事業連携への発展を目指す。

《懇話会テーマ》

- 第1回 平成27年5月20日（水）
話題提供者：知的財産総合事務所NEXPAT（弁理士：峰様）
テーマ：『知的財産の活用サイクル
～交流で生み、権利で守り、連携で売る～』
- 第2回 平成27年6月18日（木）
話題提供者：㈱NSCore（代表取締役：堀内様）
テーマ：『半導体IPのビジネスモデル、日台米韓でのビジネス環境』
- 第3回 平成27年7月22日（水）
話題提供者：㈱システム・ジェイディー（取締役会長：伊達様）
テーマ：『IoTビジネスについて』
- 第4回 平成27年9月16日（水）
話題提供者：㈱ロジック・リサーチ（代表取締役：土屋様）
テーマ：『LSI設計手法について』
- 第5回 平成27年10月21日（水）
話題提供者：㈱Lafla（代表取締役：有免様）
テーマ：『人流解析サービス「GeoSTRATOS」の紹介と、IoT時代に向けたプラットフォームについて』



<第1回懇話会>



<第4回懇話会>

入居者支援イベント②

ショートプレゼン会

全入居企業67社のうち32社のショートプレゼン会を開催。各社が順番に3分間の持ち時間で自社をPR。代表者が会社概要や製品・サービスの特徴をまとめた1枚のスライドをもとに発表。発表に使用したスライドを入居企業紹介資料として冊子を作成し配布。

- 日時：平成27年12月15日（火）16:00～17:30
- 場所：LSIセンター会議室
- 参加者：32名



<ショートプレゼン会>

入居者交流会

入居企業間の交流促進を目的として、入居者が参加する交流会を開催。入居者間の連帯意識が醸成され、相互の事業内容の情報共有や新事業のアイデア等についての貴重な情報交換が行われた。

- 日時：平成27年12月15日（火）18:00～19:00
- 場所：LSIセンター交流サロン
- 参加者：23名



<入居者交流会>

金融機関等の皆様にご支援いただきたいこと

- ◆ 創業期にある程度まとまった額の資金供給をご検討いただきたい。
- ◆ 会社の事業計画や製品・サービスの新規性、優位性等に重点を置いた評価を行っていただきたい。
- ◆ 会社の成長期に担保提供等の経営者個人の負担に頼らない資金供給をご検討いただきたい。
- ◆ 金融機関間、自治体間と連携を推進して、融資、ファンド、補助金等について一元化して情報の提供を行っていただきたい。
- ◆ ビジネスマッチング等の販路拡大や事業提携について、ご支援いただきたい。

独立行政法人中小企業基盤整備機構
九州本部 支援拠点サポート課／地域振興課

TEL 092-263-0302

福岡システムLSI総合開発センター
インキュベーションマネージャー／田中 秀一郎

TEL 092-832-7151